

楽棟取り付け写真

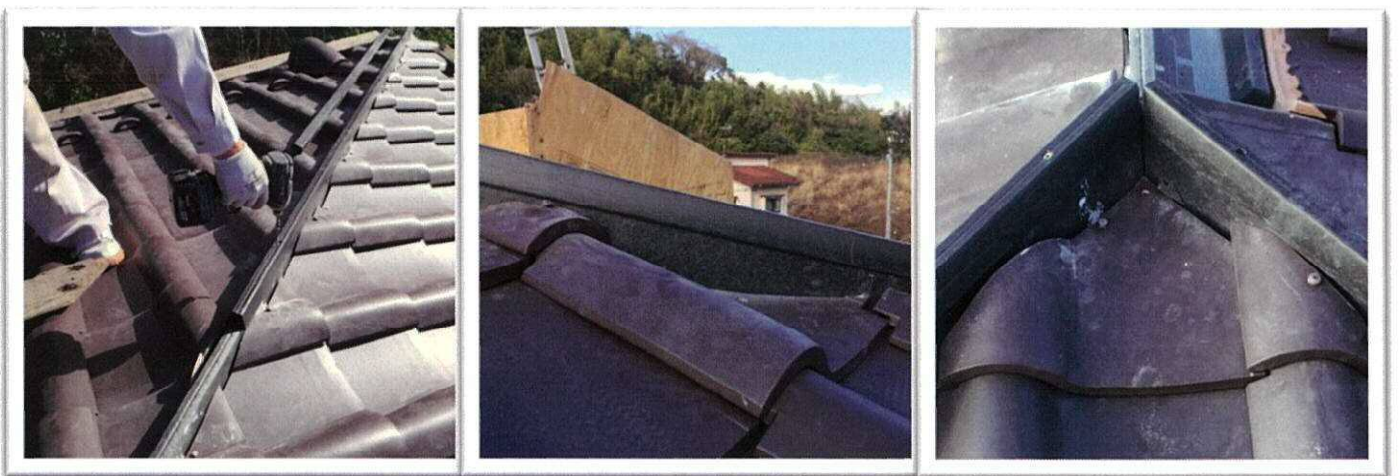
湿式工法（使用瓦 石州産ニューセウ）（楽棟Ⅱ・MNH30+MNH15） 1/4



① 野地板面に防水シートを貼り、楽棟を棟の芯に合わせ 50 mmピスにて野地板に留め付ける。



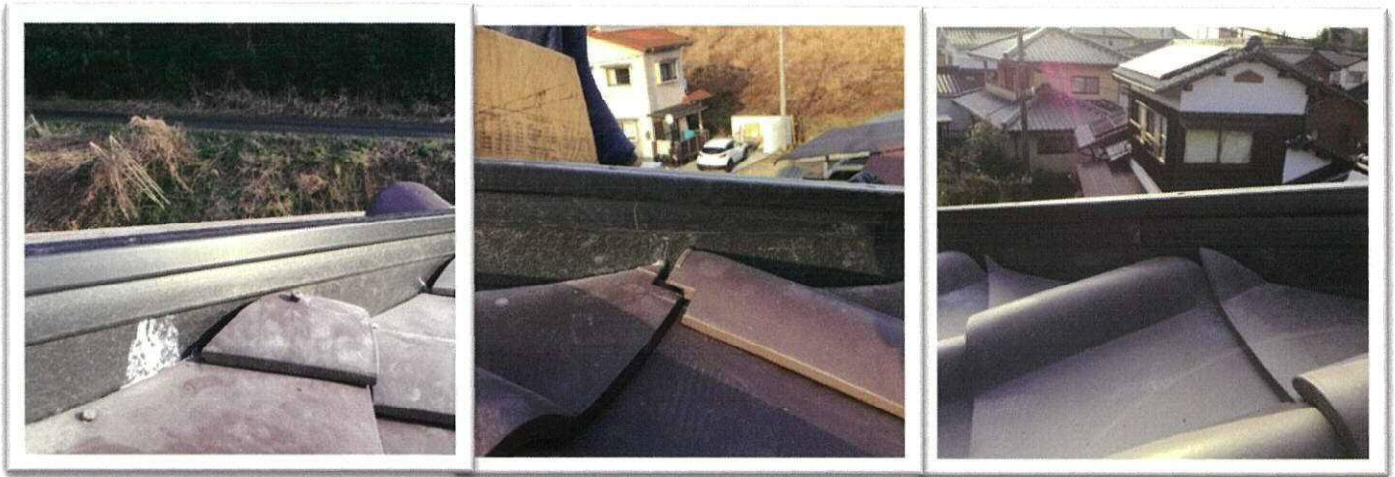
② 楽棟取り付け後 瓦棧木を留め付け地葺き。



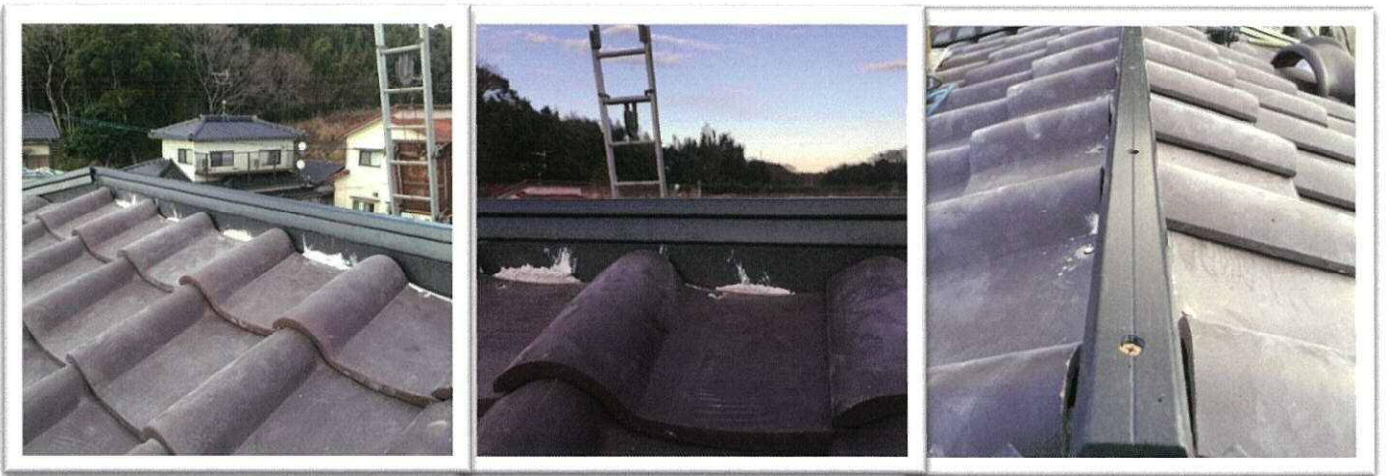
③ 楽棟の足部分に、勝手瓦を乗せ留め付け、楽棟Ⅱ型の頭部に楽棟ハット 30 をビスにて仮止め固定する。



① S系瓦の為 楽棟ハット 30 の上に更に楽棟ハット 15 を乗せ仮止め固定する。



⑤ 隅棟部



⑥ 本棟部



⑦ 楽棟は通りが良い為、金具工法における金具の高さ調整や棟垂木の振れ調整等が不要（工期短縮省施工）



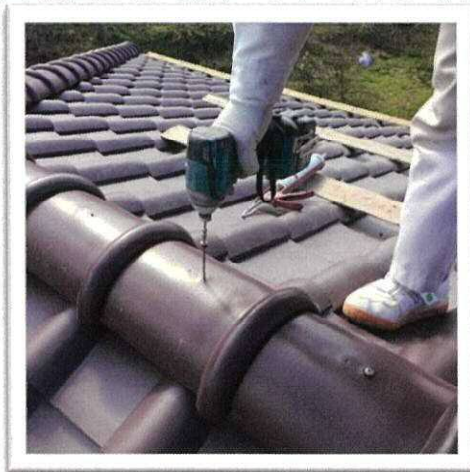
⑧ 棟部土台になんばん等を塗布する。 なんばん漆喰の使用量が30%程減る。（なんばん漆喰の削減）



⑨ 隅棟部なんばん漆喰塗布後 棟瓦の通りを調整しながら楽棟ハットのうえに乗せつける。



- ⑩ 本棟部土台になんばん等を塗布する。 なんばん漆喰の使用量が30%程減る。
 ⑪ 本棟部なんばん漆喰塗布後 棟瓦の通り及び三叉部の調整を行い楽棟ハットのうえに棟瓦を乗せつける。



- ⑫ S形瓦の為 90mm以上のパッキン付ネジを棟瓦の所定ビス穴に差し込み、ドリルにて楽棟ハットを貫通し、楽棟に30mm以上差し込み、留め付ける。

※ 棟補強金具と棟垂木の一体化による施工簡素化人工木材です、
 (1人工以上の省施工・副資材の削減)

※ 棟金具・棟垂木の取り付け不要で手間いらずで省施工を実現。
 (金具の高さ調整・棟垂木の振れ・金具+垂木の等のビス数量施工の削減)